

国際機関における地方創生をめぐる議論
OECD（経済協力開発機構）地域開発政策委員会日より
(PART II)

(24) 「G7 香川・高松都市大臣会合」

第 33 回「都市政策作業部会」では、2023 年 7 月香川県高松市で開催される「G7 香川・高松都市大臣会合」も議題に取り上げられた。これは 2022 年 9 月 13 日、ドイツのポツダムで初めて開かれた第 1 回会合に次ぐ 2 回目の「G7 都市大臣会合 (G7 Sustainable Urban Development Minister's Meeting)」である。

G7 議長国である日本からの進捗状況報告として、「上級都市開発担当者会議 (SUDO : Senior Urban Development Officials Meeting)」を通じた関係各国・機関との準備・調整状況の紹介があった後、事務局から G7 議長国向けに作成された文書案が紹介され、G7 や G20 の都市大臣会合への OECD の貢献について報告があった。

「G7 香川・高松都市大臣会合」は「かがわ国際会議場」をメイン会場として、7 月 7 日から 9 日までの 3 日間の日程で行われる。メインテーマ「持続可能な都市の発展 (Sustainable Urban Development)」の下に、① カーボンニュートラル/レジリエンス (Carbon Neutral /Resilient Cities) ② インクルーシブ (Inclusive Cities) ③ デジタル (Digitalisation in Cities) の 3 つのサブテーマを設け、日本における経験や取り組みも生かしながら、G7 を含む世界各国の都市問題の解決、持続可能な都市の発展に貢献することを目的に広範な議論が交わされる。会議の中心となる大臣セッションのほか、各国との 2 国間会談、地元県・市による歓迎レセプション、大臣主催晩餐会や直島地中美術館、栗林公園、玉藻公園への現地視察なども予定されている。

「G7 香川・高松都市大臣会合」については、「都市政策作業部会」に引き続き開催された第 48 回「地域開発政策委員会」でも進捗状況報告が行われた。